

# 図書館だより 1号



令和6年7月 発行

令和6年度がスタートし、3か月経ちました。みなさんどのような学校生活を送っていますか？

図書館だより1号では、新任の先生方からみなさんへのお薦めの本を紹介していきます。

初めに、今年度の図書委員長からみなさんへメッセージです(^\_^)☆

## 🌻 図書委員長より一言 🌻

みなさん、こんにちは！！図書委員長を務めさせてもらっています、山下友愛です。これからも引き続き、皆さんが「本を読みたい！」と思えるよう精一杯努めて参ります。図書委員一同皆様が訪れるのをお待ちしております。本のリクエストがあれば気軽にご相談ください。

これからは暑い季節がやってきます。皆様、熱中症には十分にご注意ください。

## 🌻 伊豫田孝幸教頭先生おすすめの本 🌻



【書名】親切は脳に効く

【著者名】デイビッド・ハミルトン/堀内久美子(訳者)

【本に関するコメント】「情けは人の為ならず」(人に親切にすれば、やがてはよい報いとなって自分にもどってくる)は科学的に正しかった！本書では著者が「親切の五つの副作用」を分かりやすく解説します。(第一の副作用「親切は、幸せをもたらす」、第二の副作用「親切は、心臓と血管を強くする」、第三の副作用「親切は、老化を遅らせる」、第四の副作用「親切は、人間関係をよくする」、第五の副作用「親切は、伝染する」)

みなさんも本書を読んで他人に親切をして、その副作用を味わってみませんか？

## 🌻 藤本昭二先生おすすめの本 🌻



【書名】解きたくなる数学

【著者名】佐藤雅彦、大島遼、廣瀬隼也

【本に関するコメント】数学の問題といえば数式がただただ並んでいて、それをひたすら解く形式のものばかりですが、この本は見開きの写真に数行の間が投げかけられているだけです。数学というと難しい数式のイメージがありますが、決してそれだけではありません。数学とはもっとシンプルで楽しく、日常のあちこちに見え隠れしています。難しい計算は必要なくどちらかといえば「どう解くか」「どう考えるか」というアイデア勝負を実感する本です。

## 🌻 友澤浩司先生おすすめの本 🌻



【書名】ポッコちゃん他

【著者名】星 新一

【本に関するコメント】小学生の時、あまり読書が好きではなかった時に、出会ったのが星新一です。ショートショートの第一人者で、短編で読みやすく短い中にも、色々と考えさせられた。近未来を舞台にした作品が多く、今となっては当たり前前の世界が1960年代に書かれており、現代との比較も楽しいものです。内容は短編なので書けませんが、本には色々な情報、見方、発見があるんだ、読書は楽しいと気づかされた一冊でした。

## 🌻 石川みどり主任主事おすすめの本 🌻



【書名】なぜ僕らは働くのか

【著者名】池上 彰

【本に関するコメント】高校時代、将来の仕事についてあまり考えず、いける大学に行ってその後仕事について決めたらいいかなと思っていた。田舎の高校に勤務した時に生徒との雑談の中で将来について話すことがあり、職業について問うとはっきりとした回答が返ってきて驚いた。

この本は職業のヒントや働く時の気持ちの持ち方、人との接し方、なぜ勉強が必要なのかまでわかりやすく書かれており、漫画もあり読みやすい。働いている私が読んでも同感することが多々ある。人生100年といわれる現在、定年後も今まで働いてきた歳月以上の期間が残されている。年齢問わず読めて考えさせられるものである。